

# 2017年12月期 第1四半期 決算 Q&A資料



超生産型CNC立形複合研削盤  
PGV-3

株式会社 太陽工機

## 【目次】

Q:2017年度第1四半期の売上1,571百万円(月平均523百万円)について	・・・ P3
Q:2017年度第1四半期の営業利益182百万円について	・・・・・・・・ P3
Q:2017年度の通期売上計画69億円の達成確度について	・・・・・・・・ P4
Q:2017年度の営業利益の達成確度について	・・・・・・・・ P4
Q:為替感応度(為替変動による影響)について	・・・・・・・・ P5
Q:海外受注比率について	・・・・・・・・ P5

Q: 2017年度第1四半期の売上1,571百万円(月平均523百万円)について

A: 2017年度第1四半期の売上高は、前年同期比19%減となりましたが、当初計画通りの着地となりました。前年同期の自動車関連企業向けの大口案件が寄与した反動減と、納期がやや長いシステム機の受注が増加していることが要因です。

しかし、第1四半期の受注が前年同期比33%増加し、3月末受注残も3,311百万円と潤沢なことから第2四半期から売上は順調に増加する見込みとなっております。従って、上期売上計画3,300百万円の達成は十分可能であると考えております。

Q: 2017年度第1四半期の営業利益182百万円について

A: 2017年度第1四半期の営業利益は、前年同期に比べ151百万円減少しました。売上減少と、システム機が増加したことにより、生産体制を整備するための一時的な費用が増加したためです。

第2四半期以降は、売上増加と第1四半期に発生した一時的費用がなくなるため、収益性は改善に向かいます。

(※システム機: ロボット、搬送ユニット等を付加した自動・無人運転可能な機械)

## Q: 2017年度の通期売上計画69億円の達成確度について

A: 2017年度の売上計画は上期33億円(月平均550百万円)、下期36億円(月平均600百万円)となっております。

第1四半期の受注高は1,885百万円(月平均628百万円)となっており、前期(2016年度)第1四半期を底に増加しております。(「2017年12月期 第1四半期決算説明資料」P8参照) 2017年第2四半期以降も引続き、受注は堅調に推移する見込みです。通期売上計画を最低ラインとし、更に計画を上回ることができるよう邁進いたします。

(受注から売上までのリードタイムは、機械の種類によって異なりますが、3～6ヶ月程度となります。)

## Q: 2017年度の営業利益の達成確度について

A: 第1四半期の営業利益は182百万円(通期に対する進捗率20.9%)となりましたが、第2四半期以降の売上増加による営業利益の増加を見込んでおります。更にシステム機の原価低減により、上期で400百万円、通期で870百万円の営業利益を見込んでおります。

Q: 為替感応度(為替変動による影響)について

A: 当社は全ての取引を円建てで行っているため、為替の変動による影響は発生いたしません。

(※ただし、現地技術営業スタッフの費用については、直接取引のため、為替差損益(営業外損益)は発生いたします。)

Q: 海外受注比率について

A: 海外売上を伸ばすために米州、欧州地域に現地技術営業スタッフを採用したことにより、受注・引合は着実に増加してきております。今後も米州、欧州を中心に現地技術営業スタッフの採用と教育を行うとともに日本からの駐在員を増やすことで、海外受注比率の増加に努め、2017年度の海外受注比率は前年度並の25%を目標にしております。

## お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>